

# 研究条件めぐり 日程はあらためて本紙でお知らせします。 学部長に懇談申し入れ

サバティカル、研究休職、  
あるいは長期出張など……

三重大学人文学部  
学部長 安食 和宏 様

学部長との懇談の申入れ

2017年 5月16日

三重大学教職員組合人文学部支部

執行委員長 前田 定孝

日頃人文学部のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、下記の内容で、当教職員組合人文学部支部は、三重大学人文学部長との懇談を申し入れます。どうかよろしくお取りはからいください。

記

今後のサバティカル、研究休職、および長期出張等の教員の研究環境等の整備について、意見交換させていただきたく、お願いします。

以上

## 「学部・学科を存続させる構想を」

第3回執行委員会  
での議論から

先週15日、第3回執行委員会を開催しました。

まず、今年度が学部長選挙の年であることを意識すると、今年度2年目となった第3期中期計画期間に何をやるのかを具体的に打ち出さないと、このままでは人文学部も法律経済学科も、もたないのではないかと、今後みんまで知恵を出しあう必要があるのではないか、という意見が出されました。

さらには、プログラムによっては、今後も地域イノベに人が追加的にとられる可能性があることを意識する必要があるので意見がありました。

また今回はとくに、サバティカル、研究休職、長期出張など、研究環境を充実させるために具体的にどうすべきかが、重点的に話し合われました。

翌日、安食学部長宛、懇談の申し入れをしました。

サバティカル、研究休職、ことです。学科などで設定および長期出張。就業規則してけると、安心して行に基づく制度だけでもいくけるよつになります。

ただ、長期出張の場合な私学では、「順番が回って途中で復帰するために、一年分の授業を出張前後の半期で担当するため、負担が大きいから、安心して取得しやすくなっています。」

「このような時代だから人文学部でも、一定の時期までは「順番」もあった囲気をつくらないと絶対によつであるが、いつの頃からよくなないと——先日の執行委員会での議論です。



三重大学教職組人文学部支部執行委員会

2017年 5月23日 (火) 第168号

津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部内

編集・発行人 前田定孝

E-mail:kff02520@nifty.com

# 団体交渉でたいせつなことは 継続的な追及

## 無期転換、配偶者等扶養手当廃止による 影響試算、水道水の炭酸カルシウム

記者A それなりに成果の大きな団体交渉といえる。記者C 中央執行委員会の課題である。記者A その他、授業料について、昨年「大幅な値上げはしない」と言っていたのを撤回して、「値上げしない」と明言した。記者C 安全保障技術研究推進制度、マイナンバー、事務職員管理職の超過勤務手当など、昨年度の成果がまったく引き継がれていなかった。昨年11月に、あらためて交渉するはずの配偶者等扶養手当廃止問題は、交渉事項に記載すらなかった。組合の認識。

記者B 水道水のカルシウム沈澱については、矢崎部長が「自分でポットを開けたことがない」といったのには仰天した。こんな人たちが全構成員の安全衛生に責任を負っているのか。交渉を通じて、生物資源学部や医学部の実験器具に詰まりが発生することが指摘された。「施設に言つ」と言っていたが、どうなったのか。記者C 安全保障技術研究推進制度、マイナンバー、事務職員管理職の超過勤務手当など、昨年度の成果がまったく引き継がれていなかった。昨年11月に、あらためて交渉するはずの配偶者等扶養手当廃止問題

記者B 無期転換については、知らないふりしてへんな労働契約書を交わそうとしている。無期労働契約書に有効期限など記載した例などこの世にあるのか？交渉時の中途半端なやり取りは許されない。記者C 津労働基準監督署もびっくり仰天だった。記者B 地域手当は、県が下げたのをいいことに、姿勢が後退した。「1%で1億円」としかいえない。大学は、マンパワーで成り立っているといつことがわかっていない。

無期転換後の契約書について、「専門家に問い合わせる」として。配偶者等扶養手当廃止については、いくつかのパターンでシミュレーションした結果を示させることになった。水道水については、施設部に確認して、しかるべき手を講じることとなった。安全保障技術研究推進制度は、項目にすらあがらなかったが、回答させた。マイナンバーも同じ。こういうものは他にもいくつかある。ひとつひとつ大切にしたい。

記者B 教職員の政治的行為について、原則的に自由であるという認識をもたせない。これは学生も同じ。ともに有権者である。記者A マイナンバーは、それがビッグデータと化して、やがて構成員の基本的

記者C 組合の姿勢が重要というところだ。記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、

記者C 組合の姿勢が重要というところだ。記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、

記者C 組合の姿勢が重要というところだ。記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、

記者C 組合の姿勢が重要というところだ。記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、

記者C 組合の姿勢が重要というところだ。記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、

記者C 組合の姿勢が重要というところだ。記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、

記者C 組合の姿勢が重要というところだ。記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、

- 以下のフォローアップが求められる
- 配偶者等扶養手当廃止の影響試算  
団体交渉時の約束どおり当局に出させる
  - 地域手当  
2018年度の現給保障終了後の再検討
  - 無期転換後の契約書のあり方  
「専門家に問い合わせ再度回答する」
  - 水道水  
「施設部に確認して、しかるべき手を講じる」
  - 安全保障技術研究推進制度  
「学会会議の声明案を踏まえて、三重大で対応する」
  - 年俸制  
「給与の性質を変質させない」
  - 管理職職員の超過勤務問題  
「違法ではないが不当くらいはいえる」

### 継続すべき課題も明らかに

記者A 追跡すべき課題もたくさん残された。まず、